

製品名: 伸長因子 2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02979**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 95 kDa; Observed MW: 95 kDa

抗原情報

遺伝子名	EEF2
別名	EEF2; EF2; Elongation factor 2; EF-2
遺伝子 ID	1938
SwissProt ID	P13639
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

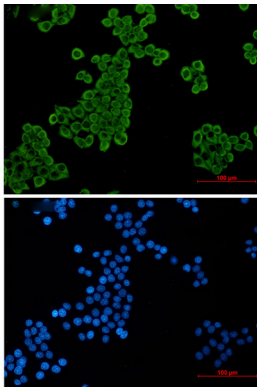
翻訳伸長過程における GTP 依存性リソーム転座段階を触媒する。この段階では、新たに形成された A 部位に結合したペプチジル

tRNA と P 部位に結合した脱アシル化 tRNA がそれぞれ P 部位と E 部位へ移動することで、リボソームは転座前 (PRE) 状態から転座後 (POST) 状態へと変化する。

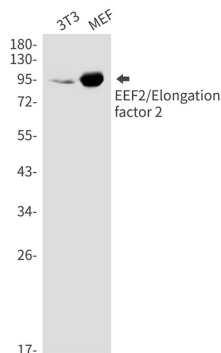
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

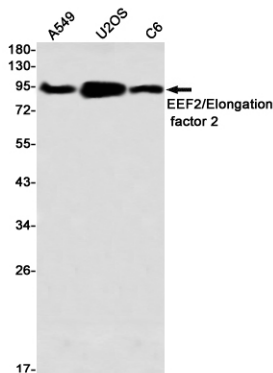
画像データ



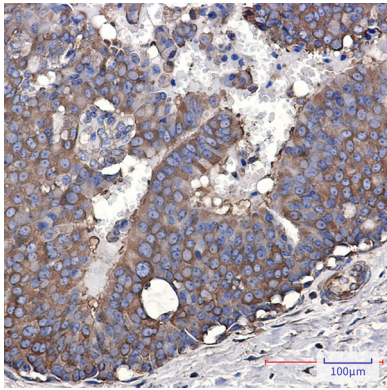
伸長因子 2 抗体と DAPI (青) を使用した、Hela の伸長因子 2 (緑) の免疫細胞化学分析。



EEF2/Elongation factor 2 抗体を使用した 3T3、MEF 溶解物中の EEF2/Elongation factor 2 のウェスタンブロット分析。



EEF2/Elongation factor 2 抗体を用いた A549、U2OS、C6 ライセート中の EEF2/Elongation factor 2 のウェスタンブロット分析



EEF2/伸長因子2抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。